



## 困難を乗り越える

みなさんが走り高跳びの練習をしているとします。バーの高さを少しずつ高くしながら練習しています。バーがある高さになってから、なかなか跳び越えることができなくなりました。こんな時、みなさんはどうしますか。跳べないのは、器具の位置が悪いから、とか、そもそもバーの高さが高すぎるからと考えて、器具の調整をすることで「解決できた」と納得する人はほとんどいないでしょう。跳べるようになるためには、自分の跳び方を工夫したり、もっと高く跳べるように体を鍛えたりするなど、自分でできることをすることが大事だと多くの人がわかっていると思います。

これがもし、走り高跳びではなく、毎日の生活の中での悩みとか苦しみだったとしたら、どうでしょう。何か習い事に通っていて、出される課題をこなすのがつらいと思うこともあるでしょう。そんな時、課題が多すぎる・練習が厳しすぎる・世の中の仕組みが悪い、などと考えることがあるかもしれません。

だれの心にも弱さやもろさがあります。時に人はそれに負けてしまう弱い面も持っています。しかし、反対に、それを乗り越え、次に向かっていこうとする強さもあります。

悩みとか苦しみといったものは、自分の力で乗り越えようと思わない限り、乗り越えることはできないものです。自分を鍛えたり挑戦したりすることで、はじめて乗り越えられるものです。どんなに苦しくてもつらくても、それを受け入れて、自分以外のもののせいにしないで、まずは「自分にできることをしていこう」と考えることから、可能性や希望も生まれてくるのではないのでしょうか。

生活していれば、辛いことも苦しいこともあると思います。そんな時に、困難さを受け入れつつも、まずは自分ができることを考えて取り組んでみるのが、その壁を乗り越えるチャンスにつながるということを心にとめておいてください。

## 3.14 第44回 卒業式

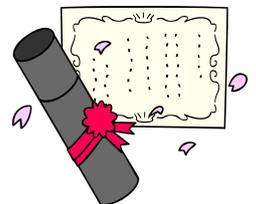
歳月の流れは速いもので、3年生とお別れする日が近づいてきました。

3年生の中には、すでに進路が決定した人もいれば、これから最後の公立入試に臨む人もいます。

思えば、小学校卒業前からの臨時休業、中学校入学後も、たび重なる学級閉鎖など、多くの制約が続きましたが、3年生のみなさんは「今、できることを精一杯やる」という姿勢で、いつも笑顔を絶やさずに取り組んでくれました。日々の学校生活の様々な場面で1・2年生をリードし、鹿中の伝統を受け継ぎながら、「後輩との絆」という成果を残してくれました。

3年生は、まもなく、それぞれが選んだ進路に向かって出発します。この3年間、とりわけ「感染症と向き合いながら」取り組んだ様々な活動もあったからこそ、そこで培われた「絆」が、これからの人生の大きな支えになることでしょう。

1・2年生のみなさんは、12日の「3年生を送る会」はもちろんのこと、卒業までの残された時間を先輩とともに大切に過ごしましょう。次は、みなさんが先輩たちの「がんばり」を引き継ぐ番です。



## 保護者のみなさまへ

平素は本校教育にご支援・ご理解を賜り、誠にありがとうございます。

学校評価アンケートの回答にご協力いただき、ありがとうございました。

「生徒・保護者アンケート」の結果・分析は、学校ホームページの「2024年度 学校評価」に掲載します。今後の教育活動に活用させていただきます。

いよいよ今年度もあと少しで終わります。お子様も、気持ちの切り替えがとりわけ必要な時期となります。引き続き、ご家庭でもお子様との対話を通して、ご支援いただきますようよろしくお願いいたします。

